

「FUKUOKA City スマート農業マッチングプロジェクト」について

スマート農業の推進を図るため、令和6年度より、市内生産者の課題やニーズと企業のスマート農業技術やアイデアのマッチングを図る「Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト」をスタートし、参加企業を全国から募集した。

概要 本プロジェクトでは、下記の2つのプログラムを実施

①市内生産者とのマッチングプログラム 【応募：18社】

対象企業 市内生産者の課題等を解決するスマート農業の技術・アイデアを有する企業等

- ✓ 市がワンストップ窓口となり、きめ細やかなマッチングを実施
- ✓ 市内生産者と企業等のマッチングイベント（※）を実施

②チャレンジ農園プログラム 【応募：7社 → 採択：3社】

対象企業 市内生産者の課題等を解決するスマート農業の社会実装を目指し、今津リフレッシュ農園内で実証実験を希望する企業等

- ✓ 今津リフレッシュ農園内の実証実験フィールドの提供
- ✓ 賞金 100万円（実証実験の必要経費）

※ マッチングイベント（令和6年8月6日実施）

- 会場： Fukuoka Growth Next（福岡市中央区大名2-6-11）
- 内容： チャレンジ農園プログラム事業者採択式、生産者と企業等の交流会
- 出席者：市長、市内2JA組合長、市内生産者（約30名）、企業（15社）、大学関係者 など



出席者全員で記念写真



企業出展ブース



企業による技術紹介

チャレンジ農園プログラム採択企業一覧

企業名	事業内容
	膜DAC技術を用いた小型ハウス向けのCO2施用装置の開発 カーボン エクストラクト ■ Carbon Xtract株式会社 膜DAC（ナノ分離膜を用いて大気中からCO2を回収する技術）を施設園芸のCO2施用に利用するなど、化石燃料を使用しない環境配慮型の栽培方法の確立を目指す。
	水やり・土の暖め・収穫の自動化で農作業の効率化・収益増 ■ 株式会社 アイナックシステム 自動水やりシステム・局所ヒーターシステム・いちご自動収穫ロボットを、小型栽培棚においてパッケージ化。都市型農業での普及を見据えたいちご栽培のハーフオートメーションを社会実装することで、農作業時間の大幅削減・収益増を目指す。
	低農薬・低肥料で高収量・高付加価値を実現する次世代農業 サクモツ ■ SACMOT s PDDS（化学農薬や化学肥料を大幅に削減できる技術）、環境記憶種子（高温条件下でも作物の収量、品質を落とさない技術）によりコスト削減・高収入を目指す。

← 採択者による
プレゼンテーション

九州大学 岡安教授
講評 →

